

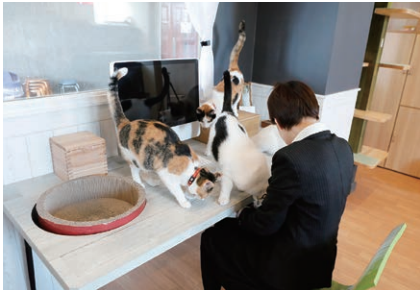
会員企業探訪

別注家具製造の 技術で 日本の困りごとを 果敢に挑む

株式会社 ウッドスタイル 代表取締役 西村 幸平



青い外壁が目を引く事務所兼工場。
ショールーム「りねこLabo」も1Fにある



デスクで作業をしていると猫が…という時に
役立つ様々な工夫が凝らしてある



「りねこLabo」にはキャットタワーをはじめ
猫と暮らすアイデア家具がたくさん



特殊な技術で節などを残したまま平らにし
竹の美しさを生かした家具を作りあげた

経営理念

職人氣質。
自分の技術に自信を持ち、
安易に妥協せず、
納得のいく仕事をする。

福原町の国道431号沿いに本社工場を構える株式会社ウッドスタイル。倒産した家具メーカーを主要取引先からの強い要望により引き継ぐかたちで、その社員であった西村さんが代表となつて平成16年に設立した会社である。主業は別注家具の製造販売。もともと県外との取引が多く、首都圏の銀行カウンターや美術館博物館等の展示什器、シテイホテル向けの家具などを数多く手がけてきた。他にも店舗内装仕上げ及びリフォーム、イベント会場設営も行う。しかし立ち上げ当初は、充てにしていた県外受注が景気の影響などでまもなく、がまん経営が続いた。

「県内に入り込むなら、下をくぐれ」と言われたと西村代表はふりかえる。「つまり値段を下げるということですが、それでは仕事にならない。何か活路はないか」と思案しているところに伊勢宮の飲食店改装の仕事が入り、それが評判となつて次々と飲食店からの仕事が増え、県内での足場を築くことができた。手掛けた店舗数は60件以上にもなった。しかしそれに甘んじることはできない。家具メーカーとしての自負もある。国内の家具業界は低迷。長年培ってきた別注家具づくりの技術を、新しい時代に活かすにはどうしたらいいのか、自問する日々が続いたという。そのころ参加していた研究会で古民家の再生や古材の活用を話し合う

猫と人の共生を 猫専用家具で提案

もうひとつ、関心を集めるのが「りねこ」プロジェクトである。猫と人の共生（猫と幸せに暮らせる社会）をめざし、猫と人ともにストレスのない環境・空間づくりの研究開発をし、自社工場猫専用家具を製造販売するというもので、立ち上げから2年。昨年末にはショールーム「りねこラボ」をオープンさせた。では、なぜ猫に特化した家具を作るのか。猫好きの西村さんは「猫ブームで多様な猫用家具が売り出されるが、使い勝手、デザインなどピンとこないものばかり。だったら別注家具製作の技術を活かし独自のブランドを立ち上げ、納得のいくものを作りたい」との動機に至ったという。

5匹のちゃんこスタッフが出迎えてくれるショールーム内には、上り下りができるタワーや天井近くにめぐらされたキャットウォーク、壁に貼り付けるマグネット式のステップ、整理ダンスのような扉があるトイレ、爪とぎ道具、猫ちくらなど多彩に揃う。猫たちも自由にのびのびと遊びまわっている。ショールームのしつこい壁は独自開発で、空气清新、消臭、調湿の効果がある。西村さんはこれまで20種近くの家具類を試作、その約半分を商品としてホームページに掲載し、全国からの問い合わせに対応する。ショールームは

なか、竹が話題になった。「このやっかいもの、何とかならないか」という言葉が転機となった。

やっかいものといわれる 竹の可能性を広げる

「竹を平らにできれば、素材として活用できる」との思いで可能性を探り始めた西村代表。放置されてはびこる竹林被害に悩む地域は多く、島根県も松江市も同様、しかも面積は年々増える。有効活用の方策は全国共通の課題となっていた。これまで竹の平板化は様々に試みられてはいたが決定打がない。西村さんは竹の表皮と節をそのまま活かす平板化にこだわって研究を進め、実現に成功。4年前に「表皮付き竹材の製造方法」として特許を取得した。

「竹はたいへんエコな素材。平らにすることで付加価値をつけ、様々な用途に展開したい」とし、トレーや平皿、パネル、イスなどに加工し商品として世に出した。イタリア・ミラノで開催される国際見本市サローネに出展し、関係者の高い注目も集めた。現在も研究開発は続いており、特許庁の集中支援も受ける一大プロジェクトとなった。今後は製作コストを抑えること、量産化が課題と西村代表はいうが、デザイナー的にも自由度の高い新素材の市場への提供は、今後ウッドスタイルの大きな武器になるだろう。

完全予約制で有料。だが可愛い猫の癒しを求めてか、リピーターも多いというから猫人気のすごさがうかがえる。「日本で困っていることを仕事にしたいと、いつも思っています。竹もそうですし、猫も保健所で殺処分される数が少しでも減るように。また、りねこプロジェクトは人の自殺防止にもつながります。猫と触れあうことで人の鬱は必ずぶん軽減されるという研究結果があります。たくさんの方が就業する企業内にこのショールームのような猫と触れあうスペースを設けることで、ストレスが解消され、同時に猫も幸せに、長く暮らすことができる。そのためプロジェクトなんです」と西村代表はいう。

主業の別注家具製造販売をベテランも含めた職人7人の腕で支えながら、そこにとどまらず、日本の抱える諸問題に着目し、家具メーカーならではの視点で解決策を模索し、商機とする。この先どんな分野に切り込むのか、楽しみに会社である。

株式会社ウッドスタイル
〒690-0811 島根県松江市福原町20-5
TEL0852-34-9777 FAX0852-34-0007
[Web] http://www.wood-style.com/